

笠そばの存続と上之郷地区の活性化のために

笠そば処について

笠そば処は、中山間地域という立地にありながら、年間約9万人の客が訪れる、市内随一の人気店である。生産から加工、提供までを一手に行う6次産業だからこそ、地域の雇用を生み出し、上之郷地区全体の活性化に貢献している。



多くの来訪客

営業開始までの軌跡

- 1992年 そばの試験栽培開始
- 1994年 日曜限定で営業開始
- 2002年 笠地区全戸の出資により、
「有限会社 荒神の里 笠そば」
設立、通年営業開始



そば畑

存続の危機

人口減少、超高齢化により組織の労働力が年々低下し、生産部門は地区住民だけでは賄いきれない状況にあり、また、獣害対策についても、定期的な点検等が手つかずになっていた。結果としてそば畑への獣害により令和6年の収穫量は激減、令和7年5月から休業を余儀なくされている。



破損した防護柵



休業中の店舗

笠そばの存続と上之郷地区の活性化のために

笠そばの存続及び上之郷地区を活性化させるためには、県の土地利用制度の見直し方針を本市上之郷地区にも適用され、移住・定住と若年層人口の増加を促進させることが不可欠である。



そば打ち体験